

FUJITEC

証券コード:6406

フジテック株式会社 第67期

中間報告書

2013年4月1日～2013年9月30日

Grow Together!

Yes, Fujitec Can



中期経営計画の初年度 目標達成に努めます

第67期4～9月の連結中間業績と、当社を取り巻く
事業環境についてご報告いたします。

代表取締役社長 内山 高一



国内昇降機需要が伸長

当社を取り巻く事業環境は、米国・日本の政府による金融緩和対策から、世界経済の持ち直しがみられました。また、日本経済におきましては、いわゆる“アベノミクス”による景気回復への期待感から、株価上昇と円安が促され、企業収益の拡大につながりました。このような状況の下、国内の昇降機業界は首都圏を中心とした再開発計画の増加から需要台数が伸びてきました。また、2020年に東京で開催されるオリンピックによる建設需要の高まりから、今後更なる昇降機需要の拡大を見込んでおります。

前年同期に比べ増収増益

当社の第67期連結中間業績は、日本と東アジアの売上高増加と、予想を上回る円安為替の影響から売上・利益ともに前年同期に比べて増収増益になりました。日本におきましては、アフターマーケット事業に加えまして、首都圏を中心にした新設事業の収益拡大が業績面に貢献しました。東アジアは、特に中国の新設事業を中心に売上、利益ともに増加しました。南アジアは一部地域で工事の遅れがありましたが、円安の影響とシンガポールでサービス事業が好調だったことから、増益を確保できました。一方、北米・欧州は円安の影響から増収となりましたが、利益面では苦戦しました。

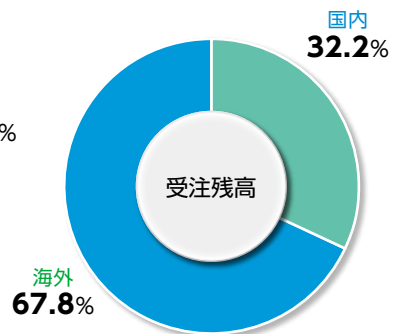
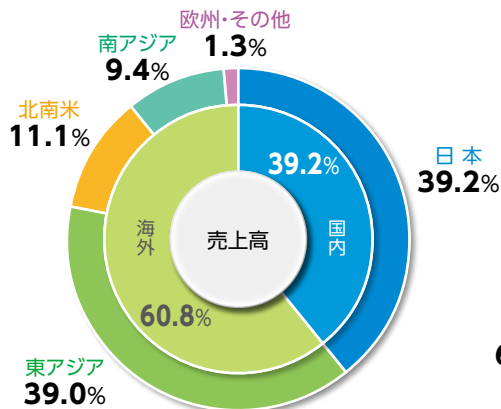
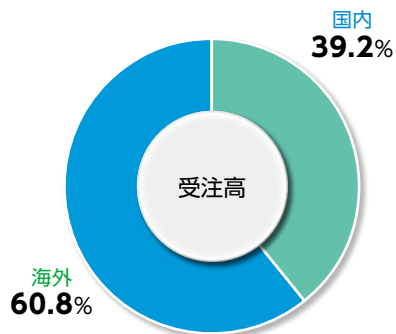
株主の皆様へ

中間期の業績を踏まえ配当金は1株当たり、前年同期比3円増の9円とさせていただきます。本年度は中期経営計画“Grow Together! Yes, Fujitec Can”がスタートした年です。修正しました初年度目標の売上高1,500億円、営業利益110億円を必達するため、全社一丸となって取り組んでまいりますので、引き続きご支援賜りますよう、よろしくお願いいたします。

CONTENTS

株主の皆様へ	1
連結決算情報Ⅰ	2
主な活動概況	3
トピックス	5
CSR	6
連結決算情報Ⅱ	7
株式の状況	9
企業データ	10

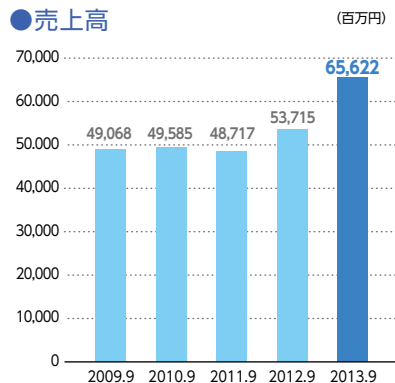
▶ 営業の状況



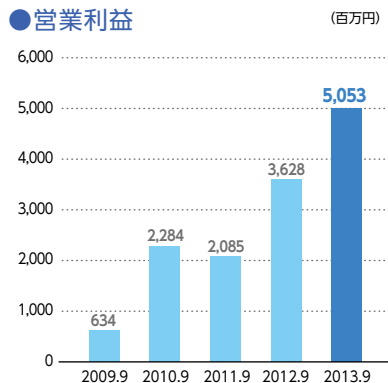
(2013年9月30日現在)

▶ 業績の推移

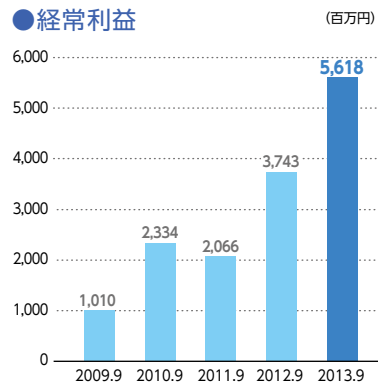
● 売上高



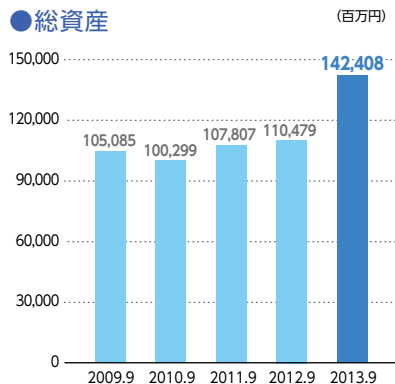
● 営業利益



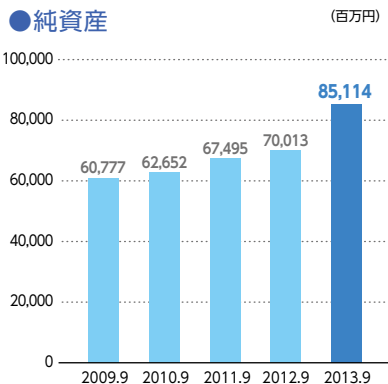
● 経常利益



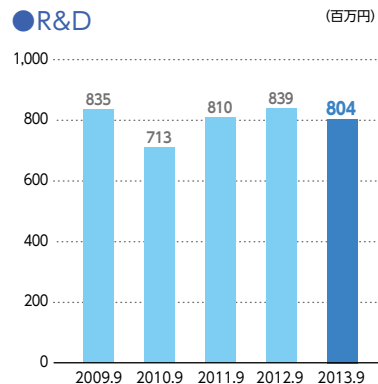
● 総資産



● 純資産



● R&D



よりグローバルで、より快適な空間移動システムを

上期は日本、グローバルともに、大型受注が相次ぎました。また、世界中の関心を集める物件に当社製最新式のエレベータ・エスカレータを納入。当社はよりグローバルで、そして、より快適な空間移動システムをご提供するため、今後も顧客満足度と技術力の向上に努めます。



ザ・ウィングス(香港)

日本

日本は首都圏を中心に昇降機需要が堅調に推移しています。都内の“拓殖大学文京キャンパス”向けにエレベータ・エスカレータ計18台を受注。また、エレベータ・エスカレータ計21台を“アークヒルズサウスタワー”に納入しました。一方、近畿圏では大阪の大型商業施設向けにエスカレータ28台を納入しました。



アークヒルズ サウスタワー(東京)



北南米

北米は新設市場・アフターマーケット市場ともに安定しています。アメリカではオハイオ州のコロンバスにある“ネイションワイド・チルドレンズ・ホスピタル”向けにエレベータ15台を納入しました。また、ニューヨークでは新しいランドマーク“1717ブロードウェイ”向けにエレベータを納入します。一方、南米では各国で様々な物件の受注・完成が相次ぎました。



1717ブロードウェイ(アメリカ)



提供します

東アジア

東アジアは依然、高い経済成長力を維持する中国を中心に、需要が拡大しました。中国では、重慶で複合商業施設“中渝国際都会”向けにエレベータ・エスカレータ計131台を受注。韓国では、“ロッテプレミアムアウトレット金海”向けに、エレベータ・エスカレータ計29台を納入しました。



中渝国際都会(中国)

南アジア

南アジアは各国で新設需要が拡大しました。シンガポールでは、“マリーナ・ワン”プロジェクト第1期工事向けのエレベータ・エスカレータ計58台を受注。インドではチェンナイの複合施設“ザ・フォーラム・ビジャヤモール”向けにエレベータ・エスカレータ計47台を納入しました。



ザ・フォーラム・ビジャヤモール(インド)

欧州・中東

中東諸国は好景気から昇降機需要が旺盛です。地中海に面したレバノンでは首都ベイルートにある“国立図書館”の増改築に伴い、エレベータ6台を受注しました。竣工は2014年7月の予定です。また、カタールで建設中の“ハマド・メディカル・センター”向けにエレベータ・エスカレータの納入を予定しています。



ハマド・メディカル・センター(カタール)



2013年3月期決算説明会を実施

機関投資家、証券会社を対象にした2013年3月期決算説明会を5月に東京本社で実施しました。会場には約40名のアナリストが来社。決算概要、新年度の業績見通しなどの質問が上がりました。

6月には、当社にとって初の試みとなる機関投資家向けのスモールミーティングと、個人投資家向けの説明会を開催しました。東京で開催したスモールミーティングでは、今後の事業方針が話題になりました。京都で開催した個人投資家向けの説明会には100人を超える人が集まりました。



▲決算説明会(5月)

華昇フジテック新エレベータ研究塔の完成近づく

中国の事業拠点である華昇フジテックでは、2012年4月より進めている新エレベータ研究塔の建設が最高高さ151mに到達し、完成へ近づいてきました。

2014年3月に竣工し、中国で高層・大規模化するビルに向けて次世代エレベータの開発を担います。



新エレベータ研究塔完成予想図▶

社会ニーズに対応した商品をラインアップ

フジテックは社会ニーズに対応した商品をラインアップしています。エレベータでは高齢者施設のニーズに対応した「エクシオール Sパッケージ」の販売を開始しました。

また、エレベータ照明の電気料金削減に効果的な「LEDカーライト」の提案も積極的に行いました。



LEDカーライトのリーフレット▶

フジテックは地域社会に向けた活動を通して、より良い社会の実現を目指します

ビッグウイングでフェスティバル開催

滋賀県彦根市の本社ビッグウイングで7・8月の両月、近隣住民を招いた「オープンハウス」と「サマーフェスティバル」を開催しました。会場にはたくさんの家族連れが来場。地域に愛され、地域に根ざした企業になるため、今後も地域交流イベントを積極的に実施します。



サマーフェスティバルの様子(8月)

東京都内の小学生対象に安全教室を開催

東京本社内では7月、「エレベータ・エスカレータ安全教室」を都内の小学生対象に開催しました。港区の小学2年生40名が来社し、エレベータ・エスカレータの安全な乗り方や、仕組みを学びました。今後も小学校を中心に、危険から子供たちを守るために安全教室を実施してまいります。



エレベータ・エスカレータの安全な乗り方を学びました

単位(百万円)

▶ 連結貸借対照表

	2013年3月31日現在	2013年9月30日現在
●資産の部		
流動資産	80,736	99,170
固定資産	41,907	43,238
有形固定資産	28,759	29,109
無形固定資産	3,136	3,544
投資その他の資産	10,011	10,584
資産合計	122,643	142,408
●負債の部		
流動負債	39,953	50,761
固定負債	4,417	6,532
負債合計	44,371	57,294
●純資産の部		
株主資本	88,485	89,539
その他の包括利益累計額	△16,568	△11,541
少数株主持分	6,355	7,116
純資産合計	78,272	85,114
負債・純資産合計	122,643	142,408

ポイント①：流動資産

流動資産は前連結会計期間末に比べて、184億3,300万円増加しました。これは「現金及び預金」が77億6,100万円、「受取手形及び売掛金」も53億3,800万円増加したためです。

ポイント②：負債合計

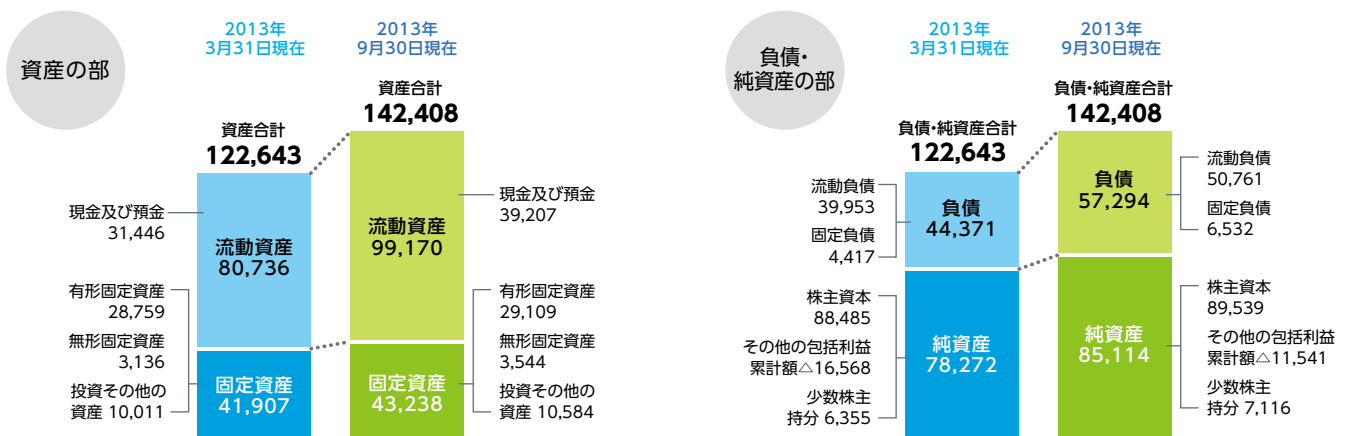
負債合計は前連結会計期間末に比べて、129億2,300万円増加しました。これは「支払手形及び買掛金」「前受金」「長期借入金」が増加したためです。

ポイント③：純資産合計

純資産合計は前連結会計期間末に比べて、68億4,100万円増加しました。これは「利益剰余金」が20億5,600万円、「為替換算調整勘定」が46億7,300万円増加したためです。

連結貸借対照表の概要

単位(百万円)



(注1) 当第2四半期連結子会社は18社であり、持分法適用会社はありません。
 (注2) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

単位(百万円)

連結損益計算書

2013年3月期第2四半期
2012年4月1日～2012年9月30日

2014年3月期第2四半期
2013年4月1日～2013年9月30日

売上高	53,715	65,622
売上原価	41,795	51,433
売上総利益	11,920	14,189
販売費及び一般管理費	8,291	9,135
営業利益	3,628	5,053
営業外収益	329	656
営業外費用	214	91
経常利益	3,743	5,618
特別利益	1	0
特別損失	73	153
税金等調整前四半期純利益	3,670	5,465
法人税、住民税及び事業税	801	2,106
法人税等調整額	368	△497
少数株主損益調整前四半期純利益	2,500	3,856
少数株主利益	522	864
四半期純利益	1,977	2,992

ポイント①：売上高

売上高は日本・東アジアの販売増加と、円安為替相場の影響から前年同期を上回るものとなりました。特に中国の売上げ増加効果が大きく寄与しました。

ポイント②：営業利益

営業利益は売上高の増加により増益になりました。加えて、東アジアにおける、生産原価率の低減が営業利益率の向上につながりました。

ポイント③：四半期純利益

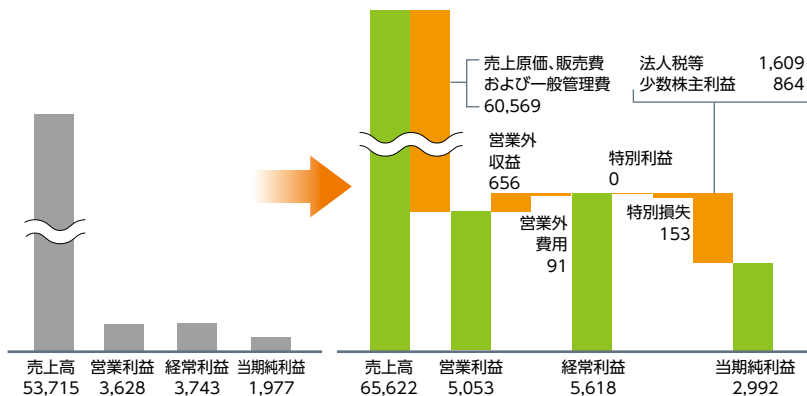
四半期純利益は前年同期に比べて1.5倍超の増益になりました。また、売上高、営業利益、経常利益と共に、第2四半期期間内で過去最高の業績となりました。

連結損益計算書の概要

単位(百万円)

2013年3月期第2四半期
(2012年4月1日～2012年9月30日)

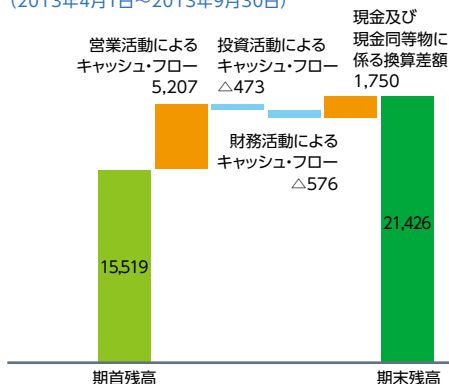
2014年3月期第2四半期
(2013年4月1日～2013年9月30日)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

単位(百万円)

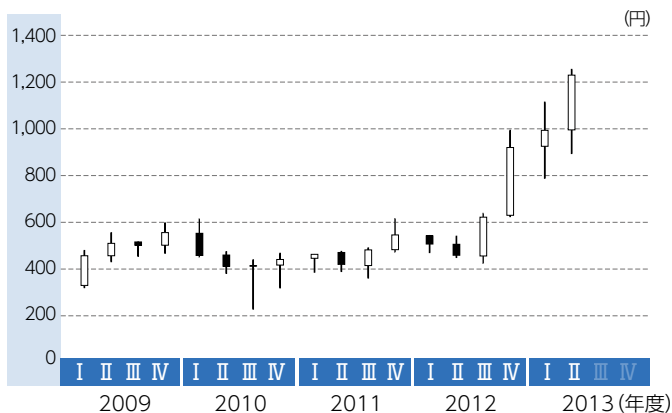
2014年3月期第2四半期
(2013年4月1日～2013年9月30日)



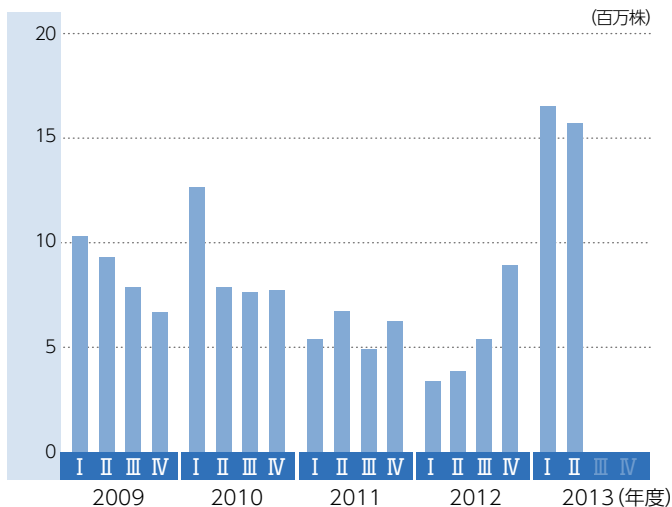
株式の状況

発行済株式の総数	93,767,317株
株主数	2,893名
上場証券取引所	東京証券取引所

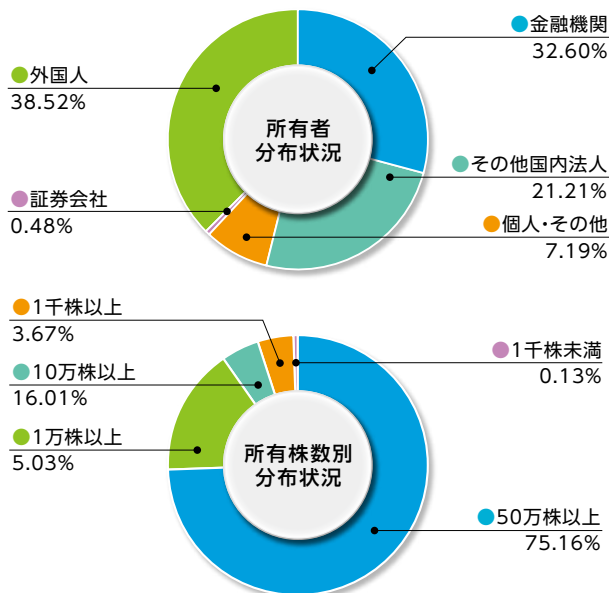
▶ 株価推移



▶ 出来高推移



▶ 所有者分布状況・所有株数別分布状況



▶ 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
1. CGMI-CLIENT SAFEKEEP 418	13,752	14.69
2. 株式会社ウチヤマ・インターナショナル	9,099	9.72
3. 富士電機株式会社	5,089	5.43
4. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,994	5.33
5. エムエルピーエフエス カस्टディー アカウント	4,518	4.82
6. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,407	4.71
7. 株式会社りそな銀行	4,203	4.49
8. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	3,103	3.31
9. ザ チェース マンハッタン バンク エヌエイ ロンドン エス エル オムニパス アカウント	2,317	2.47
10. ザ バンク オブ ニューヨーク ジャスティック トリーティー アカウント	2,058	2.19

(注1) 持株比率は2013年9月30日現在の発行済株式総数である93,767,317株から自己株式206,591株を除いた93,560,726株を基準に計算しています。

(注2) 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)には、従業員持株会支援信託ESOP 926,000株が含まれています。

▶ 会社の概況

設立 1948年2月9日
 資本金 125億3,393万円 (2013年9月30日現在)

▶ フジテック・グループ

日本	本社 ビッグウイング	滋賀県彦根市宮田町591-1 TEL(0749)30-7111
	東京本社	東京都港区三田3丁目9-6 TEL(03)4330-8200
北米	アメリカ	FUJITEC AMERICA, INC.
	カナダ	FUJITEC CANADA, INC.
	グアム	FUJITEC PACIFIC, INC.
南米	ベネズエラ	FUJITEC VENEZUELA C.A.
	アルゼンチン	FUJITEC ARGENTINA S.A.
	ウルグアイ	FUJITEC URUGUAY S.A.
欧州	ドイツ	FUJITEC DEUTSCHLAND GmbH
	イギリス	FUJITEC UK LTD.
中東	サウジアラビア	FUJITEC SAUDI ARABIA CO., LTD.
	エジプト	FUJITEC EGYPT CO., LTD.
	アラブ首長国連邦	FUJITEC UAE
南アジア	シンガポール	FUJITEC SINGAPORE CORPN. LTD.
	フィリピン	FUJITEC, INC.
	マレーシア	FUJITEC (MALAYSIA) SDN. BHD.
	インドネシア	P.T. FUJITEC INDONESIA
	インド	FUJITEC INDIA PRIVATE LTD.
	ベトナム	FUJITEC VIETNAM CO., LTD.
	タイ	FUJITEC (THAILAND) CO., LTD.
東アジア	ホンコン	FUJITEC (HK) CO., LTD.
	台湾	富士達股份有限公司
	韓国	FUJITEC KOREA CO., LTD.
	中国	華昇富士達電梯有限公司 上海華昇富士達扶梯有限公司 富士達電梯配件(上海)有限公司 上海富士達電梯研発有限公司

▶ 役員

取締役	代表取締役社長	内山 高一
	代表取締役副社長	関口 岩太郎
	取締役	ナラヤナピレー・スグマラン
	取締役	岡田 隆夫
	取締役	白倉 三徳
	取締役	花川 泰雄
	取締役	稲葉 和夫

監査役	常勤監査役	野木 正彦
	常勤監査役	北川 由雄
	監査役	中野 正信
	監査役	佐伯 照道

執行役員	執行役員社長	内山 高一*
	執行役員副社長	関口 岩太郎*
	専務執行役員	ナラヤナピレー・スグマラン*
	専務執行役員	岡田 隆夫*
	常務執行役員	津山 圭二
	常務執行役員	奥田 勝次
	常務執行役員	加藤 義一
	常務執行役員	浅野 隆史
	執行役員	梶田 順司
	執行役員	井上 治男
	執行役員	多川 正弘
	執行役員	原田 政佳
	執行役員	内山 泰行
	執行役員	筒井 邦彦
	執行役員	坂本 晴彦
	執行役員	宇都宮 靖雄
	執行役員	伊豆原 久男
	執行役員	早瀬 昭彦
	執行役員	土畑 雅志
	執行役員	中川 泰毅

*は兼務しています。(2013年9月30日現在)

■ 株式会社についてのご案内

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会・期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日

公告方法 電子公告により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載することといたします。
ホームページアドレス：<http://www.fujitec.co.jp/koukoku/>

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内1丁目4-1 三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜4丁目5-33 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉2丁目8-4 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)

取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

■ 復興特別所得税に関するご案内

「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」の施行に伴い、2013年1月1日から2037年12月31日までの間に支払われる配当金につきましては、その所得税額に2.1%を乗じた額が「復興特別所得税」として追加課税されますので、ご案内いたします。

【個人株主様への配当金に対する源泉徴収税率】

	2013年1月1日～ 2013年12月31日	2014年1月1日～ 2037年12月31日	2038年1月1日～
所得税	7%	15%*	15%
復興特別所得税	0.147%	0.315%	-
住民税	3%	5%*	5%
合計	10.147%	20.315%	20%

※2013年12月31日をもって軽減税率の適用終了が予定されています

● 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 未払配当金の支払について

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

● 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収書にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度、「配当金計算書」を同封させていただきます。

※確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。